



消費税を下げれば買物が増え景気向上

物価高騰の対策として「消費税を下げて」の声が高くなっている。

これに与党は「消費税は福祉の為、それを下げるなら福祉を三割カット」と絶叫。

一九八九年に消費税導入以来、国民が払った消費税総額は四七六兆円。その間に法人三税を減税、三二四兆円税収減。所得税の最高税率引下げで所得税住民税は二八九兆円減収。福祉の為に導入された消費税は法人税減税と大金持ちの所得税減税に使われただけ。法人税所得税を元に戻せば問題ない。

法人税を減税しても

消費税十%とは庶民の財布から十%抜き取る事。それだけ国民の購買力が減る。法人税を減税し、ゼロ金利でも、物が売れる見込み

が立た無いから、どの会社も設備投資、事業拡大をしない。

結局、儲けを内部留保として貯め込み、外国に投資。これで日本の経済は落ち込んだ。

消費税を引き下げたら

消費税を5%下げたら、庶民の財布が5%膨らむ。それだけ店の売上げが増え、生産者の収入が増える。経済の好循環が生まれ、景気が良くなる。

軍事費は？

軍事費GDP2%とは、国民の税金五兆円を米国の兵器産業に渡すこと。米国を潤すだけ。それより北朝鮮や中国と独自の外交を進めて平和を保つことが肝要では？
あなたはどうか思われますか？

小鮎川の蛇行

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷の寺鐘

二〇二二年二月



宮ヶ瀬湖の東南端から厚木に向け峠を越えると小鮎川の谷。川の蛇行に合わせて、くねくねとしたバス道が続く。

煤ヶ谷の寺鐘と云う所で小鮎川はUターン。まるで半島のようになっている。木々の間から茶畑や野菜畑が見える。

天保の頃から昭和の初めまで、日照りの中には雨乞いの行事が行われたそう。

この地域、煤ヶ谷村(宮ヶ瀬村と合併し、今は清川村)では日照りが続くと雌雄の竜を作り、村内を練り歩く。そして、この絵の辺りに雌の竜を沈める。

一方上流の谷太郎川に雄竜を沈める。すると恋しい雌竜に会いたい雄竜が雨を降らせ、大水に乗って下流の雌竜と合流するそう。

谷太郎川にはます釣り場がある。

日曜ジジ通信は月末まで休刊します

